

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年11月18日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数

1日目

## 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	東京都	代表者名	小池 百合子		
担当者部署	デジタルサービス局	連絡先電話番号	03-6273-5318		
担当者役職	主任	担当者氏名	三浦 英明	連絡先E-mail	
住所	163-8001 東京都新宿区2-8-1				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	平本 健二
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	DXを取り巻く情勢や海外の事例などもふんだんに取り入れて、わかりやすくご講演頂いた。また、ワークショップにおいては、受講者一人一人と対話し、受講者の理解度を踏まえたわかりやすい説明などをして頂いた。アンケートにおいても、参加した全員から「とてもわかりやすかった」「わかりやすかった」と回答が得られた。
アドバイザーへの要望事項	今後もご協力をお願いさせて頂くこともあるかと存じますが、引き続き何卒よろしくお願いいたします。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年11月18日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時30分	12時00分	
				活動時間（分）	150
3-2. 派遣場所	会場名	神津島村役場	最寄駅	神津島飛行場	
	所在地	東京都神津島村904番地	最寄駅からの交通手段	村役場職員による送迎	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	神津島村役場職員	7人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	これまでにも、情報リテラシー研修等を行っているが、東京全体の自治体DXを推進していくための、底上げ的な人材研修の開催は未だ行っていない。他方、様々な場面において「DX」が求められるが、「DX」が実際にどのようなもので、自分の業務において必要性があるのか等の基礎的な知識が根付いておらず、職員間で基幹業務システムの標準化などの全国的な自治体DXに対する意識のバラつきが見られる。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DXを契機にデジタル技術を取り入れることで、業務効率向上や市民サービス向上が図られることを認識し、それらの活用方法や取り入れ方についても知識を深堀りすることができる職員の育成(デジタルマインドの醸成)が大きな課題となっている。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	職員がDXを契機に業務の見直しや改善を積極的に行うための意識の醸成となり得る研修(講義)の実施。 DXを進めて行く意義等のDXの基礎知識。将来に向けてどう変わっていくべきなのか等の自治体DX	

	の重要性について。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	参加した職員からは、「今回の研修を通じてDXへの一歩を踏み出せたと感じた。定期的にワークショップを行い、更なるDXへの意識を向上させていきたい」「村の実情と照らし合わせて何ができるか、上の人達の意識改革も含めてやっていかないといけないと感じた」といった声が寄せられるなど、神津島村におけるDXマインド醸成が進む契機となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 今後の自治体DXを担う人材育成ができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートを行ったところ、全員が「大変参考になった」「参考になった」など肯定的な回答が得られるとともに、「今回の研修を通じてDXへの一歩を踏み出せたと感じた。定期的にワークショップを行い、更なるDXへの意識を向上させていきたい」「村の実情と照らし合わせて何ができるか、上	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	DXについての取り組みの重要性を認識し、人材育成の結果、DXを契機とした業務の見直しや住民サービスの向上に積極的に取り組んで行く職員を増やしていく。	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。  
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



